



平成20年4月4日

各位

会社名 第一交通産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田中亮一郎
 (コード番号 9035 福証)
 問合せ先 取締役経理部長 垂水 繁幸
 (TEL 093-511-8840)

投資有価証券評価損の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落しているものについて、平成20年3月期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月25日に公表した平成20年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期末の有価証券評価損の総額

(A) 平成20年3月期末の有価証券評価損の総額 (概算)	419 百万円
(B) 平成19年3月期の純資産の額 (A/B×100)	16,668 百万円 (2.5%)
(C) 平成19年3月期の経常利益額 (A/C×100)	6,414 百万円 (6.5%)
(D) 平成19年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	2,933 百万円 (14.3%)

(ご参考) 当社の決算期末は、3月31日であります。

2. 業績予想の修正

(1) 平成20年3月期 連結業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	96,400	7,440	6,900	3,050
今回修正予想 (B)	91,000	5,250	4,950	1,230
増減額 (B-A)	△5,400	△2,190	△1,950	△1,820
増減率 (%)	△5.6	△29.4	△28.3	△59.7
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	87,203	6,924	6,414	2,933

(2) 修正の理由

売上高は、タクシー事業、バス事業、金融事業においては前年実績及び前回予想を上回る見込みですが、不動産分譲事業においては昨年6月施行の改正建築基準法の影響等により当社を取り巻く環境も予想以上の厳しさを増すこととなり、前年実績では上回るものの前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、原油価格の高騰によりタクシー・バス事業で燃料費が大幅な負担増となったこと、金融事業では過払返還請求の急増により過払返還引当金の積み増し等貸倒関連費用の大幅な負担増により、営業利益、経常利益は前回予想を下回る見込みであり、また、前記のとおり株式市場の低迷に伴う投資有価証券の減損処理により、平成20年3月期末におきまして投資有価証券評価損を特別損失として計上するとともに、税効果会計基準に基づき多額の繰延税金資産の取崩しを行ったこと等により、当期純利益も前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上